

第5回 災害時の連携を考える全国フォーラム

『災害支援の文化を創造する』

第5回全国フォーラム、次回の開催概要が決まりました!

気候変動の影響に伴い、自然災害の頻発・激甚化が進んでおり、今後もさらに進行する可能性が予想されます。

すべてのセクターが「災害支援」を自分ごととし、新たな視点で災害支援の担い手となる必要があるのではないかと考えています。ともに学び、つながることで、災害時の課題解決を目指しましょう!



前回の参加者の声

企業

- ・とても勉強になった、多様な立場からの意見交換がありよかった
- ・自分たちに何ができるか、ヒントを得た支援関係者

- ・支援の大きな流れが分かった
- ・「平時」と「これを疑う」といったキーワードが重要だと思った

行政職員

- ・三者連携の必要性を感じた
- ・他の行政の取り組みを聞け、参考になった

日時：2020年**6月3日(水)** 13:00~18:30 (終了後交流会を予定)、**4日(木)** 9:00~15:00

場所：一橋大学 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター)

参加費：2日間参加 12,000円、1日のみ参加 7,000円 ※交流会費別途 5,000円

資料代：3,000円 ※事前にオンラインで資料提供(無料)予定のため、紙ベースで必要な方のみ

定員：500名

主催：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

共催：内閣府政策統括官 (防災担当) (予定)

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援P) (予定)

※お申し込み開始は3月中旬を予定しております。

※第5回全国フォーラムの情報は Web サイト jvoad.jp/forum/ に随時アップしていきます。過去のフォーラムの様子も掲載しておりますので是非ご覧ください。



全国フォーラムとは・・・

2016年から、「災害時の連携を考える全国フォーラム」として毎年1回開催している。災害支援に関わる多様なセクター同士が出会い、災害時の連携に向けた平時からの顔の見える関係性を作ることを目的に開催しています。また、過去の災害からの課題や最新の取り組み事例、異なるセクターの連携事例などを共有することで、災害時の支援のモレやムラをなくすことを目指しています。

第4回実績 *過去の報告はコチラからご覧いただけます <http://jvoad.jp/forum/report/>

参加人数：688名（一般参加者429名、関係者（登壇者・ゲスト・報道・スタッフ等）259名）

後援：復興庁、総務省消防庁、厚生労働省、国土交通省、

全国知事会、全国市長会、全国町村会、北海道、
岩手県、宮城県、福島県、茨城県、東京都、岡山県
広島県、愛媛県、福岡県、熊本県、大分県、日本経済
団体連合会、日本災害復興学会、日本財団、日本労働
組合総連合会、阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

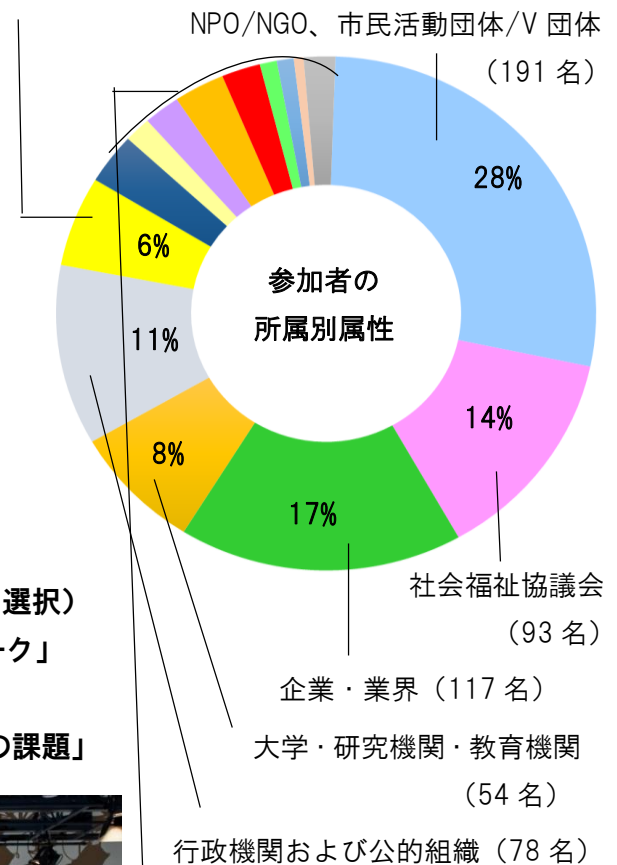
協賛：(公財)味の素ファンデーション、NTTテクノクロス(株)、
エム・ビー・エス(株)、花王(株)、真如苑救援ボラン
ティア(SeRV)、セコム(株)、損害保険ジャパン日本
興亜(株)、日本生活協同組合連合会、末日聖徒イエス
・キリスト教会/ヘルピングハンズ

プログラム：

- 1日目：オープニング「災害支援のあるべき連携の姿」
分科会1（7分科会から選択）・分科会2（6分科会から選択）
- 2日目：全体セッション「大規模災害に備えた地域のネットワーク」
分科会3（7分科会から選択）
クロージング「都道府県域ネットワークの進捗と今後の課題」



NPO支援センター/中間支援組織（39名）



職能団体など（22名）

宗教法人（21名）

報道機関（16名）

協同組合（15名）

日本赤十字社・医療関係（11名）

助成団体（7名）

自治会・町会/自主防災組織（7名）

青年会議所（4名）

その他（13名）

〈お問合せ〉

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

フォーラム事務局 担当：神元 電話 080-5961-9213 メールアドレス forum@jvoad.jp